

# PRESS RELEASE

上質ないいものを創造する  
山形の理想的ものづくりを  
このマークで伝えていきます。



令和7年2月5日

県政記者クラブ報道機関 各位

山形県産業労働部産業技術イノベーション課

## 山形のものづくり×トヨタ自動車

### 山形の匠が挑む！アップサイクル新製品のお披露目会を開催します

このたび、山形が世界に誇るものづくり技術とトヨタ自動車がコラボレーションした、アップサイクル新製品（急須・冷酒器）が完成したことから、新製品のお披露目会を開催します。

お披露目会では、この急須・冷酒器を活用した「県産日本酒の新たな提供スタイル」もご紹介します。

つきましては、当日の取材・報道について御協力くださいますようお願いいたします。

#### ●お披露目会について

- 1 日時 令和7年2月14日（金） 16時10分から16時40分
- 2 場所 山形県庁5階 501会議室
- 3 出席者 山形県 吉村 美栄子 知事  
菊地保寿堂 菊地 規泰 代表取締役  
トヨタ自動車クルマ開発センター  
石島 崇弘 センター長
- 4 次第 1) 開会  
2) 出席者紹介  
3) 概要説明  
4) 挨拶  
5) 製品紹介  
6) アップサイクル製品を用いた県産日本酒の新たな提供スタイルご紹介  
7) 写真撮影  
8) 質疑応答

#### ●取材受付について

会場での取材を希望される場合は、2月12日（水）までご連絡ください。

#### 【問い合わせ先】

産業労働部産業技術イノベーション課次世代産業振興室  
室長補佐 板垣 電話：023-630-2553

#### 【報道監】

産業労働部 次長 奥山

## 【参考】

### 1 プロジェクトの背景・経緯

トヨタ自動車は、地域の伝統工芸品に自動車廃材を取り込み、新たな価値を創造することで地域に貢献する活動を行っています。

山形県での取組みは、鉄廃材を原材料に、山形鑄物の伝統的な技術・技法を活用した急須・冷酒器を日本最古の山形鑄物工房である菊地保寿堂（山形市）と共に製作しました。

### 2 プロジェクトの製品紹介

世界で初めて自動車鑄物部品の鉄廃材を再利用した急須・冷酒器になります。

形状はひらぐも、色は日本を象徴する色として外国からジャパンブルーと評される藍色を用いています。

日本茶の急須、紅茶、中国茶などの茶器としてはもちろん、コーヒードリップ用のポットとして、さらには燗瓶や冷酒などの酒器としても利用できます。

▼アップサイクル急須・冷酒器



### 3 菊地保寿堂について

菊地保寿堂は、「伝統と革新」をフィロソフィーに、安全—地域貢献—感動を生み出す鑄物づくりを目指して、約 420 年もの間、鑄物工房を続けています。

その卓越した技術と精神が現代の生活に溶け込んだ、彩色鑄物ティーポットの開発製作を行っており、パリを中心に高い評価を得ています。

また、環境に優しく、人体にも優しい鑄物づくりを行っております。

#### 【会社概要】

住 所： 山形県山形市銅町二丁目 23 番 6 号

取扱商品： 鉄瓶、和銚鉄瓶、彩色鑄物ティーポット、鑄物調理器具

代 表 者： 代表取締役 菊地 規泰



### 4 トヨタの環境に配慮した取組みについて

従来のクルマづくりの軸である経済軸（安くて作りやすい）、技術軸（軽くて高性能）という2つの価値観に、環境軸（地球環境から考える）という概念を追加することで「捨てるところのないモノづくり」の実現を目指しています。

そのために、クルマづくりだけでなく、その終わり方（廃棄）まで考え、さらには素材選びから考えなおす、そしてリサイクルでクルマに戻すことのできない廃材については、「仲間づくり」を通じ自治体や地域の工芸家、アーティストと共創することで付加価値をつけ、アップサイクルする「次の命づくり」に取り組んでおり、これらの考え方を「Geological Design(ジオロジカルデザイン)」と称し、活動しています。